

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補充的、発展的な改善内容
国語	語彙力、またその語彙を活用し、自分の考えをまとめる能力が低いことが課題である。	自分の考えや意見を伝える授業展開の工夫 補:書くためのプロットを考える授業を丁寧に行う。 発:文字数や条件、時間を設定して書くことを行う。
社会	社会的事象を理解するために適切な資料を選択し、活用することができる。社会的事象について、多面的・多角的に思考し、的確に表現することに課題がある。	社会的事象への思考力・表現力を育成する授業の工夫 補:例を示し、具体的な表現の仕方を理解させる。 発:多面的・多角的な視点をもって思考させる。
数学	授業に前向きに取り組んでいる生徒が多いが、集中力が切れることがある。応用的な問題が苦手な、既習内容を活用して発展・応用していく力に欠けている。	数学的な見方・考え方の向上 補:既習事項を活用して応用問題へ取り組む。 発:解答の根拠をはっきりと述べられる授業を展開する。
理科	意欲的に授業を聞き理解しようとするが、自発的に復習をして理解を深めようとする意識は薄い。	補:小テストを継続的に実施し基本的な知識の定着を図る。 発:入試問題を意識した課題に取り組ませることで、考える力を伸ばす。
音楽	意欲的に取り組める。指示や説明を、聞いているようで理解できていないことがある。	全体に指示を出す時は、特に丁寧に確認していく。 補:吹奏楽の個別、少人数の補習を検討する。 発:音色の追求や技術的な発展課題を与える。
美術	意欲的に取り組んでいる。個々の作品の質を、さらに高める。	構想の段階、制作段階で、イメージに近づけるために熟考させる助言や見本を示す。 補:様々なサンプル作品を用意する。 発:アイディアが膨らむ生徒には、さらに展開できるように助言していく。
保健体育	体力値も高く、まじめだが、活気が少ない。	更なる運動運動量の確保 補:教え合い・関わり合いのある運動を多くする。 発:より高度な技能に挑戦する。
技術	実習に意欲的に取り組んでいる。知識や用語の理解に課題がある。	実習授業における内容に関する知識を定着させる。 補:ノートを活用し、知識を定着させる。 発:授業ないで発展的な発問をする。
家庭	実習以外の時間で、意欲的に取り組めない場面が見られる。	興味関心をもって授業に取り組ませるために、教材として最近の話題や、生徒に関心のある事柄を取り上げ、授業を行う。 補:実技の面で不十分な生徒を個別指導する。 発:自ら工夫できる教材を提示する。
英語	意欲的ではあるが、既習内容の定着が不十分。また、英語で表現する能力を身に付ける必要がある。	習得した文法を言語活動で活用する機会を作る。 補:プリントを用いて復習し、知識の定着を図る。 発:授業内において、英語で自由に表現する機会を多くする。